

## 環境 NEWS (第39回)



全日本サーフキャスティング連盟本部 環境部

投げ釣りでは、残念ながら道糸の高切れが発生するケースが、たまにあるかと思えます。決して意図的に発生させているわけではありませんが、残された残骸(道糸、オモリ、仕掛けなど)が自然界、とくに野鳥にどのような影響を及ぼしているのか、日本野鳥の会さまの画像データをお借りして、一部を下記の通りにまとめてみました。

大変悲惨な画像ではありますが、皆さんの想像されている通りの結果となっております。当然、海の中でも同様な状況が発生しており、ウミガメや魚類などにも影響があると思えます。

これを防ぐためには、古くなった道糸は使用しない、できるだけシモリを避けて投入するなど、出来る限りの注意を払うよう気を付けたいですね。

もちろん、釣り場で見つけた糸などの残骸は拾って帰るよう、今まで以上に気を付けて頂けたら幸いです。

当会(日本野鳥の会)では、自然環境に流出したプラスチックによって、海鳥をはじめとした野鳥がどのような被害を受けているのか把握するため、具体的な事例を集める調査をおこなっています。これまでに寄せられた被害の事例を公開します。

